

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターこだま		
○保護者評価実施期間	2025年12月5日 ～ 2025/12/25		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名 21世帯	(回答者数) 17世帯
○従業者評価実施期間	2025年12月5日 ～ 2025/12/25		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 17名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の質と日々の振り返り体制	日々の支援終了後に記録や振り返りを行い、職員間で気づきや課題を共有する機会を設けています。また、行事や活動についても事前計画と振り返りを行い、次回に活かす取組を継続しています。	振り返り内容の質の向上や共有方法の工夫を図り、職員間での共通理解をより深めることで、支援の質のさらなる向上につなげてまいります。
2	保護者との丁寧な関係構築と支援体制	個別支援計画の作成や説明、定期的な面談や相談対応を通して、保護者の意向を確認しながら支援を行っています。また、通信やカリキュラム等を通じて情報発信にも努めています。	情報の伝え方や周知方法を工夫し、より分かりやすく伝わる形での発信を強化するとともに、保護者との連携を一層深めてまいります。
3	安全管理体制とリスクマネジメントの取組	各種マニュアルの整備や安全計画の策定、定期的な訓練の実施に加え、事故報告の共有や再発防止に向けた検討を行っています。	ヒヤリハットの視点での事例整理や共有を進めるとともに、訓練内容の工夫を図り、非常時への対応力の向上につなげてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間における理解や認識の差	各種取組やルール、情報管理の方法等について、共有の機会には設けているものの、理解の深さや捉え方に個人差が生じていることが要因と考えられます。	研修や日常的なミーティングを通して共通理解の促進を図るとともに、情報の整理や可視化を進め、誰もが同じ水準で対応できる体制づくりを行ってまいります。
2	情報共有・周知方法の課題	掲示や配布等による周知は行っているものの、「伝えている」と「伝わっている」ことに差があることが要因と考えられます。	周知方法の見直しや複数手段での情報発信、確認機会の設定等を行い、確実に伝わる仕組みづくりを進めてまいります。
3	地域連携および外部との関わりの不足	個別ケースでの連携は行われているものの、地域全体の質の向上に資する取組や外部との交流機会については十分に確保できていない状況です。	地域の関係機関との連携強化や研修・会議等への参加を進めるとともに、地域に開かれた事業運営を意識した取組を検討してまいります。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターごだま

公表日 令和 8年 4月 1日

22名

17/21

利用児童数 (きょうだい児家庭有、配布数21)

回収数

(回収率81%)

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15 (88%)	2 (12%)	0 (0%)	0 (0%)	外の通路がせまい 一人一人空間をとってもらっていると思 います	活動スペースについて十分と感じていただけない部分があったと考えております。 限られたスペースではありますが、活動内容や時間帯を工夫し、安全に配慮した環 境づくりに努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12 (71%)	4 (24%)	0 (0%)	1 (6%)	入れ替わりが女性職員が多いこともあり 育休等で多いのかな。	配置基準は満たしておりますが、職員の入れ替わり等により職員体制についてご不 安を感じられる部分があったと考えております。今後も安定した支援の提供に努め てまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13 (76%)	3 (18%)	0 (0%)	1 (6%)	その子その子にあわせてくださっている と思います	環境設定について十分に伝わっていない部分があったと考えております。個々の特 性に応じた構造化や環境設定に取り組んでおりますが、今後も分かりやすい環境づ くりと情報共有に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思 いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思 いますか。	13 (76%)	4 (24%)	0 (0%)	0 (0%)	居心地よさそうでした	環境面について十分と感じていただけない部分があったと考えております。日々 の清掃により清潔な環境維持に努めておりますが、設備の経年による影響もあるた め、引き続き環境整備に努めてまいります。
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	15 (88%)	2 (12%)	0 (0%)	0 (0%)	とても思います!! 受けられていると思います	ご評価いただきありがとうございます。一人ひとりの特性に応じた専門的な支援に 取り組んでおります。今後もより質の高い支援の提供に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	13 (76%)	1 (6%)	0 (0%)	3 (18%)	よく把握できていない(してない)	支援プログラムについて十分に周知できていない部分があったと考えております。 玄関エントランスにて掲示等によりお知らせしておりますが、今後はより分かりやす い情報提供に努めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思 いますか。	15 (88%)	2 (12%)	0 (0%)	0 (0%)	子どもの成長を通して、先生達が良くし てくれていると感じます。	ご評価いただきありがとうございます。面談等を通してニーズの把握や支援計画の 見直しを行っております。今後もより丁寧な支援計画の作成に努めてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援 内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的 な支援内容が設定されていると思いますか。	15 (88%)	2 (12%)	0 (0%)	0 (0%)		ご評価いただきありがとうございます。ガイドラインに基づき、こども一人ひとり に応じた支援内容の設定に努めております。今後も適切な支援計画の作成に努めて まいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16 (94%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)		ご評価いただきありがとうございます。引き続き、より良い支援の提供に努めてま いります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	13 (76%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (24%)		活動が固定化しないように、集団と個別のバランスや季節を取り入れた活動を行っ ておりますが、その意図や内容についても分かりやすくお伝えしてまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	2 (12%)	1 (6%)	10 (59%)	4 (24%)	園で春と秋の行事、遠足時のみ交流あり	コロナ禍以前はあった地域との交流機について、十分に確保できていない状況と認 識しております。感染症の影響により実施が難しい状況が続いておりましたが、今 後は状況を見ながら交流機会の再開に向けて検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	16 (94%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)		ご評価いただきありがとうございます。引き続き、より良い支援の提供に努めてま いります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		ご評価いただきありがとうございます。引き続き、より良い支援の提供に努めてま いります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	15 (88%)	2 (12%)	0 (0%)	0 (0%)		ご評価いただきありがとうございます。ペアレント・トレーニングのご案内等も 行っておりますが、今年度は実施に至らなかった内容もありました。今後はニーズ を踏まえながら、研修や情報提供の機会の充実にも努めてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていますか。	16 (94%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	細かい所まで報告してくれています	ご評価いただきありがとうございます。引き続き、より良い支援の提供に努めてま いります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16 (94%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	すぐく親身になってもらっています	ご評価いただきありがとうございます。引き続き、より良い支援の提供に努めてま いります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14 (82%)	2 (12%)	0 (0%)	1 (6%)	質問の意味がわからない ありがたいことにとても子どもにより そってもらっています	ご評価いただきありがとうございます。こども一人ひとりに寄り添った支援に努 めておりますが、十分に伝わっていない部分もあったと考えております。今後も丁寧 で共感的な関わりを大切にまいります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12 (71%)	5 (29%)	0 (0%)	0 (0%)	秋祭り等 行事がたくさんあります	交流機について十分と感じていただけない部分があったと考えております。運動 会のような大規模な行事は実施していませんが、季節の行事や保護者の方にもご 参加いただく機会を設けております。今後も交流の機会の充実にも努めてま いります。
	19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周 知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されています か。	15 (88%)	2 (12%)	0 (0%)	0 (0%)		ご評価いただきありがとうございます。相談対応については、事業所内の相談支援 事業と連携し体制を整えておりますが、十分に周知できていない部分もあつた と考えております。些細なことでも気軽に相談できる体制を作り丁寧な対応に努 めてまいります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい ると思いますか。	16 (94%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)		ご評価いただきありがとうございます。引き続き、より良い支援の提供に努めてま いります。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信さ れていますか。	16 (94%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)		ご評価いただきありがとうございます。引き続き、より良い支援の提供に努めてま いります。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14 (82%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (18%)		ご評価いただきありがとうございます。個人情報の取扱いについては、写真の使用 を含め十分に配慮しておりますが、その取組が見えにくい部分もあつた と考えております。今後も適切な管理と分かりやすい説明に努めてまいります。	
23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されてい ますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12 (71%)	0 (0%)	0 (0%)	5 (29%)		ご意見を踏まえ、各種マニュアルや訓練について十分に周知できていない部分 があつたと考えております。マニュアルの整備や訓練は実施しておりますが、今 後は保護者の皆様にも分かりやすくお伝えしてまいります。	

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11 (65%)	2 (12%)	0 (0%)	4 (24%)		ご意見を踏まえ、避難訓練について十分に伝わっていない部分があったと考えております。毎月の避難訓練に加え、年2回の総合訓練も実施しており、計画的に取り組んでおります。今後は実施状況についても分かりやすくお伝えしてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15 (88%)	1 (6%)	0 (0%)	1 (6%)		ご評価いただきありがとうございます。安全計画に基づき、訓練や日々の支援を実施しておりますが、その内容について十分に周知できていない部分もあったと考えております。今後は分かりやすい情報提供に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)		ご評価いただきありがとうございます。引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16 (94%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (6%)		ご評価いただきありがとうございます。引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16 (94%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (6%)	毎日通うのを楽しみにしています	ご評価いただきありがとうございます。引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16 (94%)	1 (6%)	0 (0%)	0 (0%)	先生たちのお陰です	ご評価いただきありがとうございます。引き続き、より良い支援の提供に努めてまいります。

事業所名		児童発達支援センターこだま				公表日	令和 8年 4月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12 (100%)	0 (0%)	・クラスだけでなく個室を利用し、少人数での療育を可能にしている点。 ・個室を設置しているため狭い印象があるが、居室面積は一人当たりの広さを確保できている。 ・基準に基づいた設備になっている。 ・個室を設置しているため狭い印象があるが、居室面積は一人当たりの広さを確保できている。	引き続き取り組んでまいります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9 (75%)	3 (25%)	・基準に基づいた職員配置になっている。 ・場面によっては不足している ・職員の急な体調不良などによる休みの日や、時に不足している日もあるように感じる。 ・実際に利用定員の上限まで子どもがいる状況を経験していないため、各クラス10名となるとどう感じるかは分からない。 ・職員が体調を崩す、又は有休をとる等ができるよう工夫が必要。 ・全体の人数としては足りているが、クラスとしては1名不足している。 パート職員が入ることによって配置数としては足りている。	配置基準は満たしており、体制としては適切に整備されておりますが、個別支援の充実を図る中で職員によっては人員が十分でないと感じる場面もあると考えられます。今後は業務の工夫や役割分担の見直しを行い、より効果的な支援体制の構築に努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11 (92%)	1 (8%)	・情報共有の必要性を感じるときがある。 ・写真、絵カードを使って視覚化して分かりやすく構造化している。玄関、療育室など、バリアフリーになっている。	概ね適切に実施できていると考えられますが、一部の職員において認識の差が見られる状況です。今後も環境設定の意図や方法について共有を図り、より統一した支援が行えるよう努めてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11 (92%)	1 (8%)	・廊下など掃除をして頂き清潔になっていると思う。クラスの棚など清潔に保っていきたいと思っている。 ・全体的にきれいだと思うが、部屋の隅に砂やほこりがたまっていることがある。 ・清潔で心地よく過ごせる環境にしている。	概ね清潔な環境を維持できていると考えられますが、一部に清掃の行き届きに差が見られる状況です。経年による影響も踏まえつつ、日常的な清掃の徹底や環境整備に努め、より快適に過ごせる環境づくりを進めてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12 (100%)	0 (0%)	・個室で落ち着いて活動をしたい時だけでなく、体調が悪い時など使用できるようにしている。 ・場所に対しての選択肢を提供することができている。 ・療育室内に、活動目的に応じた個室をパーテーションで区切って設置している。	引き続き取り組んでまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11 (92%)	1 (8%)	・通園会議などでやっている。 ・子どもの様子や目標に対する達成度を記録している。月に1度、総括リーダーや自発管に確認してフィードバックしてもらっている。 ・全職員で目標を確認し、年度末に振り返りを行っている。	PDCAサイクルを意識した取組については、概ね適切に実施できていると考えられますが、一部の職員において認識に差が見られる状況です。今後も全体での取組が進むよう、共有方法等の工夫を図り、組織的な実践につなげてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11 (92%)	0 (0%)	・保護者に事業所の実施して保護者の意向を把握し、業務改善を行っている。また毎年、保護者会主催でアンケートを実施されていて、保護者会の意向を把握、業務改善につなげている。	引き続き取り組んでまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11 (92%)	1 (8%)	・面談などで意見を聞いて頂いている。 ・勤務評定の職員面接にて職員の意見を把握している。また必要に応じて随時聞き取りを行っている。	職員の意見を把握する機会を設けられており、業務改善につなげる取組は概ね適切に実施できていると考えられますが、意見の反映や共有に一部差が見られる状況です。今後は意見をより活かせるよう、共有方法等の工夫を図ってまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6 (50%)	5 (42%)		第三者による外部評価については、現時点では実施には至っておらず、評価結果を業務改善に活かす取組は十分とは言えない状況です。今後は必要性を踏まえながら外部評価の活用を検討し、客観的な視点を取り入れた業務改善につなげてまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9 (75%)	3 (25%)	・法人内で年間研修計画を立て、「サポーターズカレッジ」にてオンライン上で支援者育成、組織マネジメント、リスクマネジメントなど様々なweb講義を受講している。 ・サポカレなどの研修を受講させて頂いている。 ・研修に参加できるような働き方の工夫が必要。	法人内で年間研修計画が策定されており、「サポーターズカレッジ」等を活用した研修受講の機会は確保されていると考えられますが、受講状況や理解度には職員間で差が見られるようです。今後はより多くの職員が計画的に研修へ参加できるように受講機会の確保やフォロー体制の充実を図り、資質向上につなげてまいります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12 (100%)	0 (0%)	・支援プログラムを作成し、掲示板にて公表している。 ・個別支援計画を作成、保護者に面談等で伝えている。	引き続き取り組んでまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12 (100%)	0 (0%)	・標準化されたアセスメントツールに加え、こどもの行動観察や保護者からの聞き取りから得た情報を基に、個々のニーズに合わせた個別支援計画を作成している。	引き続き取り組んでまいります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12 (100%)	0 (0%)		引き続き取り組んでまいります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12 (100%)	0 (0%)	クラス間だけでなく、他クラスの計画も閲覧するなど共有している。	引き続き取り組んでまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7 (58%)	3 (25%)		日々の行動観察等を通してこどもの状況を把握する取組は行われていますが、法人で取り組んでいる標準的な支援アセスメントについて、職員への周知や理解が十分に行き届いていない状況です。今後は研修等を通して専門性の向上を図るとともに、アセスメント手法の理解と活用の定着を進め、より適切な支援につなげてまいります。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12 (100%)	0 (0%)	・児童発達支援計画は、こどもの状態の把握、療育場面の様子、保護者のニーズに基づき、児童発達支援ガイドラインから必要な項目を選択し支援内容を設定している。	引き続き取り組んでまいります。	

一 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11 (92%)	1 (8%)	・クラスごと、職員全員で共通認識を持ち、立案している。	活動プログラムの立案については、クラスごとに職員間で共通認識を持ちながらチームで行われており、概ね適切に実施できていると考えられますが、一部の職員において関わり方や認識に差が見られる状況です。今後もチームでの立案であることの理解を深めるとともに、より主体的に関わることができるよう共有の在り方について工夫してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12 (100%)	0 (0%)	・子どもの状態や年齢等を考慮し、楽しく活動し、意欲、自信、達成感が育つような活動や教材を工夫している。 ・月でカリキュラムを作成している。 ・毎月、子ども連に合わせてカリキュラムを作成している。	引き続き取り組んでまいります。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	12 (100%)	0 (0%)	・活動内容や子どもの状況に応じて、クラス単位（8～10人）、小集団（2～3人、3～4人など）、個別での活動などを組み合わせて児童発達支援計画を作成している。	引き続き取り組んでまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12 (100%)	0 (0%)	・職員全体では毎日の朝礼や終礼で、クラス単位では支援前日や支援開始前の時間に打ち合わせを行っている。	引き続き取り組んでまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11 (92%)	1 (8%)	・日々の支援終了後は、記録をとり、振り返りを行っている。 ・日によって行えない時もあるのでも言えない。 ・支援中にも重要なことは共有している。	支援終了後の振り返りや共有については概ね実施できていると考えられますが、実施状況に一部ばらつきが見られる状況です。今後も安心して実施できるよう、運用の工夫を図ってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12 (100%)	0 (0%)	・前期、後期（半年ごと）で見直しを行っている。	引き続き取り組んでまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12 (100%)	0 (0%)		引き続き取り組んでまいります。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12 (100%)	0 (0%)		引き続き取り組んでまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8 (67%)	3 (25%)		医療機関との連携については、主治医による内科検診や協力医療機関での歯科検診を実施するなど取組は行われていますが、保健・福祉・保育・教育等の関係機関との連携については十分とは言えない状況です。今後は関係機関との連携体制の強化を図り、子どもの状況に応じた切れ目のない支援につなげてまいります。
	26	併利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7 (58%)	3 (25%)	関係機関と連携を取り、子どものことについて情報を共有している。	転入園時等の情報共有等の取組は行われていますが、インクルージョンの観点からの支援や関係機関との連携については十分とは言えない状況です。今後は取組の共有と連携強化を図り、切れ目のない支援につなげてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11 (92%)	0 (0%)		引き続き取り組んでまいります。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	3 (25%)	5 (42%)		個別の連携は行われていますが、地域全体の質の向上に資する取組については十分に実施できていない状況です。今後は他事業所との連携を深め、地域全体の質の向上につなげてまいります。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	8 (67%)	3 (25%)	STやOTなどの専門職による研修を受講している。	専門職からの助言や研修の機会は設けられていますが、その活用状況には差が見られる状況です。今後は共有と実践への反映を進め、支援の質の向上につなげてまいります。
	30	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1 (8%)	5 (42%)		協議会等への参加については十分に実施できておらず、職員の理解も十分ではない状況です。今後は周知を図るとともに、参加の機会を検討し、地域連携の強化につなげてまいります。
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	0 (0%)	12 (100%)	コロナ前には行われていた	地域との交流機会については現状では実施できていない状況です。今後は感染症の状況等も踏まえながら、交流機会の再開や実施方法について検討し、地域との関わりを深めていけるよう努めてまいります。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12 (100%)	0 (0%)	連絡帳や面談などで行っている。	引き続き取り組んでまいります。
保 護 者 へ の 説	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9 (75%)	3 (25%)	家族が学ぶ場を提供することで、面談等の進み具合が変わってくる可能性がある。	家族支援プログラムや研修の機会の提供、情報発信等の取組は行われていると考えられますが、参加状況には伸び悩みが見られる状況です。今後は家族がより参加しやすい実施方法や内容の工夫を図り、家族支援の充実につなげてまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10 (83%)	1 (8%)		各種説明は契約時の説明や変更時の周知を通して概ね適切に実施できていると考えられますが、支援プログラムの周知については十分に行き届いていない可能性がある状況です。今後は周知方法の工夫を図り、理解の促進につなげてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12 (100%)	0 (0%)		引き続き取り組んでまいります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12 (100%)	0 (0%)	面談の際に、保護者ができるよう具体的に伝えている。	引き続き取り組んでまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12 (100%)	0 (0%)	・要望があった場合はその都度面談を行っている。 ・面談の際に聞くようにしている。	引き続き取り組んでまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	12 (100%)	0 (0%)	行事（秋祭り）はきょうだい同士で交流する機会となっている。	引き続き取り組んでまいります。

明 等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12 (100%)	0 (0%)		引き続き取り組んでまいります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12 (100%)	0 (0%)		引き続き取り組んでまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12 (100%)	0 (0%)		引き続き取り組んでまいります。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12 (100%)	0 (0%)		引き続き取り組んでまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2 (17%)	10 (83%)		地域に開かれた事業運営についてはコロナ禍以降十分に取り組んでいない状況ですが、一部再開の動きも見られています。今後は状況を踏まえながら地域との関わりを広げてまいります。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11 (92%)	1 (8%)		各種マニュアルの策定や訓練は概ね適切に実施できていると考えられますが、周知や理解に一部差が見られる状況です。今後は周知と訓練の充実を図ってまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10 (83%)	2 (17%)		業務継続計画（BCP）の策定や避難訓練等の実施については概ね適切に行われていると考えられますが、大規模災害を想定した具体的なイメージの共有や理解については十分とは言えない状況です。今後は訓練内容の工夫や周知の充実を図り、非常時に備えた対応力の向上につなげてまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	11 (92%)	1 (8%)		子どもの健康状況の確認は概ね適切に実施できていると考えられますが、情報の管理や共有に一部差が見られる状況です。今後は情報の整理と共有を図り、適切な対応につなげてまいります。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11 (92%)	0 (0%)		引き続き取り組んでまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12 (100%)	0 (0%)		引き続き取り組んでまいります。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9 (75%)	3 (25%)		安全計画に基づく取組は概ね実施できていると考えられますが、家族への周知に課題が見られる状況です。今後は周知方法の工夫を図り、連携強化に努めてまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11 (92%)	1 (8%)		事故報告の共有や再発防止の取組は概ね実施できていると考えられますが、未就学児ということもあり、ヒヤリハット事業も事故報告として取り扱っていることが多い状況です。今後は事例の蓄積と共有を進め、再発防止の強化に努めてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10 (83%)	2 (17%)	サボカレなどの研修を受講させて頂いている。	虐待防止に関する取組は概ね実施できていると考えられますが、理解や認識に一部差が見られる状況です。今後は研修の充実を図り、適切な対応の徹底に努めてまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9 (75%)	3 (25%)	身体拘束はしていないと思っておりますが、どの程度が身体拘束に値するのかが分かっていないと思います。	身体拘束に関する組織的な決定や説明・記載については概ね実施できていると考えられますが、安全確保と身体拘束の判断基準については一部の職員において理解に差や迷いが見られる状況です。今後は判断基準の共有や研修の充実を図り、適切な運用の徹底に努めてまいります。